

盛徳寺だより

第2号

2022年12月
曹洞宗

牛頭山 盛徳寺
住職 橋 泰弘
〒258-0022

神奈川県足柄上郡
開成町牛島 340

☎ 0465-82-0594
<https://seitokuji.net/>



挨拶

師走の候 皆様におかれましては益々お健やかにお過ごしのことと存じます。誠にありがとうございます。12月31日の運慶様ご協力いただきありがとうございます。

今年も早いものであと半月となりました。皆様にとって今年一年はどのような年だったのでしょうか。私たちは毎日平穩な日々を過ごしますが、実際はなかなか思い通りにはいかず、良いことも

悪いこともありながら過ごしています。しかしその一日は二度とない一日であり、その時その時かけがえのない時であり、その日々を懸命に生きるのが「日々是好日」となるのではないのでしょうか。

これから日を通じようとするに寒くなってまいります。くれぐれもお大事にお過ごしください。よいよい良い年をお迎えさせていただきますように祈念申し上げます。



工事報告

墓地東側塀の工事終了

墓地東側の塀は十数年前から徐々にひび割れが発生し、上部ブロックが剥かれ落ちるなど倒壊の危機が増していました。今年度、護持会特別会計より一次工事として東側の塀の改修工事を行い、十一月に終了いたしました。北側の塀については令和五年度に実施する予定です。皆様のご理解と塀の改修工事に向けてのご協力をよろしくお願い申し上げます。



一年半ぶりのお稽古

五月三十一日、梅花講のお稽古がありました。コロナ禍もあり約一年半ぶりのことです。その間に一緒にお唱えしてきたお仲間が「く」なられる寂しいこともありました。久しぶりの講員皆様の元気なお姿を見るのができて嬉しくなりました。現在、月に一度集まっています。

※講員募集中ですので興味のある方は「連絡ください」



無財の七施

くしつせやくいじくも誰じくもきんぎん難行です。

一、眼施（がんせ）
温かく優しくまなむこと接するなり

二、和眼施（わがんせ）
明るい笑顔と優しい表情で接するなり

三、言施（ごんせ）
思いやりのある言葉をかかえるなり

四、身施（しんせ）
自分の身体でいきなりよく奉仕するなり

五、心施（しんせ）
相手を思いやる慈悲の心をもちし

六、床座施（しょうざせ）
座席や場所を譲りあうなり

七、扇舎施（ぼんしゃせ）
雨や風をしのぐ所をかけるなり

今日のことば

かたよらない心
こだわらない心
とらわれない心
広く広くもっと広く
これ般若心経 空の心なり

高田好胤

編集後記

第一号の発行後、励ましの言葉、アドバイスをいただきました。あしがりのつよくなりました。おかげで第二号も無事発行することができました。今年から年回案内、宝曆を送付させていただきます。私がお勤めている大雄山道々尊で十一月に新しい山主様を迎える普山式が修行されました。約二十五年ぶりのことでした。コロナ禍で縮小したとはいえ、寺院二百力寺、関係者百名以上を招く参列者があり大変な行事でした。新山主様は増田友好老師、曹洞宗では主に布教畑で活躍されている方で、長野県佐久市の出身、とても穏やかな方で、機会がありましたら法話を聞いていただきたいと思っております。年末から年始にかけて大雄山道々尊が繁忙期になり、お寺にいる日数が特に少ないので「迷惑をおかけいたします」。

巻頭の写真、よく見るとお顔が赤いのはなにかいふか。本堂「お祀のついで」寶頭庵（びんづ頭の）尊者（おびんづ頭の）です。お釈迦さまの弟子の一人ですが、日本では「なご仏」の別称で信仰を集める仏様です。自分の治したいところをなご仏に託すといわれています。